

元気が一番!



10月30日、これからも元気に過ごしてもらおうと、「介護予防まつり」が健康づくりセンターにて開催されました。今年を楽しみながら参加できるように、自宅でできる体操や指先の運動を意識した工作、塩分を取り過ぎないための減塩食体験などの体験型コーナーが用意されました。参加者は各コーナーへ参加することでポイントをもらい、集めたポイントを景品と交換するなど、楽しみながら体験しておりました。元気に過ごすためには、日頃からの積み重ねが大切ですので、運動不足や食生活などに気を付けましょう。

芸術の秋を楽しむ



11月1日から3日間、「町民文化祭」が総合福祉センターにて開催されました。文化作品展示会場では、書道作品や木工品など793点が展示され、工夫を凝らした作品に多くの方々が立ち止まって鑑賞していました。最終日には芸能発表会が開催され、茶道教室の子ども達が訪れた方々にお茶を振る舞ったほか、太鼓や三味線、吹奏楽の迫力ある演奏、様々な舞踊などが行われ、訪れた観客から大きな拍手や声援が上がり、発表者と観客が一体となった温かい雰囲気でした。

質問を通してまちへの提案



11月21日、上ノ国高校2年生が町政について考え、町長に質問を行う「ふるさと高校生議会」が役場議場で開催されました。この議会では、議長に選出された生徒が進行役となり、同級生18名が傍聴席から見つめるなか、6人の高校生議員が観光客の増加対策や福祉施設に関する質問や提案をしました。生徒たちは質問をするにあたって、町職員の話の聞いたり、資料をもとに仲間と話し合ったとのことで、自分達が住んでいる町のことを考えるきっかけになっているようでした。

うれしい贈り物



11月8日、特別養護老人ホームかみのくに荘にて、町内で寿司店を経営する名達政彦さんより、入所者の方々に寿司が振舞われました。23年間にわたって行われているこの出張サービスですが、お寿司は入所者の方に食べやすいよう工夫されており、名達さんからは「喜んでもらえているようなので、やれる限り続けていきたい」との言葉があり、施設長の西川明さんは「普段お寿司を食べる機会がない入所者にとって、本当にありがたいことです」と感謝しておりました。